

埼玉県立小児医療センター 地下駐車場空調機移設工事

図面番号	図 名	縮 尺	図面番号	図 名	縮 尺
M-01	機械設備工事特記仕様書（1）	N. S	E-01	電気設備工事特記仕様書	N. S
M-02	機械設備工事特記仕様書（2）	N. S	E-02	動力設備 地下1階平面図（改修前）	1/2000
M-03	空気調和設備 地下1階平面図（改修前）	1/2000	E-03	動力設備 地下1階平面図（改修後）	1/2000
M-04	空気調和設備 地下2階平面図（改修前）	1/2000	E-04	動力設備 地下2階平面図（改修後）	1/2000
M-05	空気調和設備 地下1階平面図（改修後）	1/2000			
M-06	空気調和設備 地下2階平面図（改修後）	1/2000			

設計年月日	主幹	縮 尺	工事名称	図名	図面番号
R5.12.1		N. S	埼玉県立小児医療センター地下駐車場空調機移設工事	表紙	M-00

●空気調和設備	①設計温湿度 ②総合試運転調整 3.煙道 4.煙突 5.長方形ダクト 6.円形ダクト 7.風量測定口 8.チャンバー 9.吹出口及び吸込口 10.ダンパー	<p>(3)特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</p> <p>(4)FF式温風暖房機の一時取外し、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認めた代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの(一財)日本石油燃焼機器保守協会)が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取外し前、再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</p> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期温度50%とする。</p> <p>※本工事・別途 風量調整 ※する・しない 水量調整 ※する※しない 騒音の測定 ※する※しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する・しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する※しない 初期運転状態の記録 ※する・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する※しない</p> <p>(1)鉄板厚 (※3.2mm・4.5mm) (2)ばい煙度計 ※設ける・設けない (3)ばいじん量測定口 ※設ける(測定口は80cmとする)・設けない</p> <p>※別途・本工事</p> <p>※低圧ダクト (亜鉛板製) 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト (亜鉛板製)・高圧2ダクト (亜鉛板製) ・ステンレス製ダクト (A区分※B区分)・塩ビ製ダクト (A区分※B区分)</p> <p>※スパイラルダクト (亜鉛板製・ステンレス製)・硬質塩化ビニル管 (VU) ・耐火二層管又は耐火VP ※フレキシブルダクト (・保温付・保温無) (注)1 使用区分は図示による。</p> <p>取付け箇所は、示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出口チャンバーの分岐ダクト</p> <p>(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2)消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300・300×500 ※400×600・550×750 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようする。</p> <p>※亜鉛板製・グラスワール製</p> <p>(1)防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2)ビストンダンパー 復帰方式 (※遠隔・)</p> <p>(1)内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。 (2)ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサプライチャンバー、レタンチャンバー及びダクト系で消音内貼りしたチャンバーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300・300×500 ※400×600・550×750 (3)外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水が滞留しないようする。</p> <p>※亜鉛板製</p> <p>(1)防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔・) 定格入力DC24V、0.7A以下 (2)ビストンダンパー 復帰方式 (※遠隔・)</p> <p>(1)冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白)・ (2)冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白)・ (3)ブランケット ※配管用炭素鋼管 (黒)・ (4)冷媒管 (保温厚ガス管※20以上・10以上・水管・20以上・※10以上) ただし、水管の呼び径が52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5)ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白)・硬質塩化ビニル管VP ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (EXWACドレンパイ)相当品) ・耐火二層VP (FDP-S-1) ・配管用炭素鋼管 (白)・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項) ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水压1mを超える配管には使用しない。 (6)油管 ※配管用炭素鋼管 (黒)・ (7)蒸気管 給気管 遠管 ※配管用炭素鋼管 (黒)・ ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40・ステンレス鋼管 (8)膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボンバー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白)・硬質塩化ビニル管VP 規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様による。また、钢管用伸縮管締手の種類は図示による。</p> <p>取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共)※空気調和機の冷温水管(出入口共)※ダクト接続形空気調和機のサプライチャンバー、レンジダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンバー※冷温水管ヘッダー(往)及び各還り管※熱交換器の温水管(出入口)・ 取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管(出入口共)、冷却水管(出入口共) ※空気調和機の冷温水管(出入口共) ※冷温水管ヘッダー(往)及び各還り管※熱交換器の温水管(出入口)・ 瞬間流量計はピート管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は(※1個・1個)付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに(※固定形・着脱形)を設ける。 ・空気調和機の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに(※固定形・着脱形)を設ける。 ※往又は遠どちらかの冷温水管ヘッダーの各接続管へ(※固定形・着脱形)を設ける。 制御盤には(※給油ポンプ制御・※満減油警報・遠隔警報・電磁弁制御・・返油ポンプ制御)の端子を設ける。 なお、フロントスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。 ※直交式・向流型 ※レジオナラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置・※自動ブロー装置・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に消音用の水栓を分岐して設ける。</p>	<p>18 空気熱源ヒートポンプ空調機</p> <p>標準仕様書によるほか下記による。 (1)回転機器の制御方式 ※回転数制御・オンオフ制御 (2)冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C) (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管は被覆管は難燃性のものを使用すること。 (3)埼玉県グリーン調達推進方針で掲げる成績係数を満たす機器とする。</p>	<p>12 掘音装置 13 その他</p> <p>・女子用トイレブースに設置する。(※本工事・別途工事) ・男子用トイレブースに設置する。(※本工事・別途工事) ・多目的トイレブースに設置する。(※本工事・別途工事) 衛生設備器具の適用等の必要なことは別途衛生設備器具表による。</p>	<p>1 配管材料</p> <p>配管材料は※下記・図面指示(図面指示が不足する箇所は下記)による。</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>管種別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS・SGP-PD ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>ウエット厨房、浴室等の温水シンダー内配管</td> <td>※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部 地中埋設部(水道直結部分)</td> <td>※SUS・SGP-PD ・HIVP・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE)</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部(一般部分)</td> <td>※HIVP・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE)</td> </tr> <tr> <td>県営住宅 住戸内 便所天井内、P.S内(注5)</td> <td>※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法) ※高密度ポリエチレン管(3.2mm以上) ※ポリブテン管(10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>便所空隙壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)</td> <td>※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>湿潤シンダー内配管</td> <td>※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部 地中埋設部(一般部分)</td> <td>※HIVP・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P.S内(注5)</td> <td>※高密度ポリエチレン管(3.2mm以上) ※ポリブテン管(10mm保温付)</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>便所空隙壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注)1. SUSとは、JIS G 3448またはJWWA G 115に規定する3.1mmステンレス鋼管とし、継手は一般部(・仕箱・ダブル)又は※括管)便所・廊下流し廻り露出配管(※括管)とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-1による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管識別テープを巻く。また、誤接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるよう点検用弁を設ける。 5. 口径2.5mm以上で便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用を可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材に高密度ポリエチレン樹脂(PE100)を採用し、管と継手を電気溶着して接合するものを行う。</p>	施工箇所	管種別	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS・SGP-PD ・ポリブテン管	ウエット厨房、浴室等の温水シンダー内配管	※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部 地中埋設部(水道直結部分)	※SUS・SGP-PD ・HIVP・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE)	地中埋設部(一般部分)	※HIVP・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE)	県営住宅 住戸内 便所天井内、P.S内(注5)	※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法) ※高密度ポリエチレン管(3.2mm以上) ※ポリブテン管(10mm保温付)	便所天井内	※ポリブテン管	便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管	床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管	湿潤シンダー内配管	※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部 地中埋設部(一般部分)	※HIVP・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE)	便所天井内、P.S内(注5)	※高密度ポリエチレン管(3.2mm以上) ※ポリブテン管(10mm保温付)	便所天井内	※ポリブテン管	便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管	<p>2 洗面器等の排水管 3 满水試験継手 4 樹の適用</p> <p>洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。 3階以上にわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。 ※掃除口付きソケット・満水試験用掃除ロケット 別紙配表による。</p</p>
施工箇所	管種別																																					
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS・SGP-PD ・ポリブテン管																																					
ウエット厨房、浴室等の温水シンダー内配管	※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管																																					
保温をしない屋外露出部 地中埋設部(水道直結部分)	※SUS・SGP-PD ・HIVP・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE)																																					
地中埋設部(一般部分)	※HIVP・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE)																																					
県営住宅 住戸内 便所天井内、P.S内(注5)	※ポリブテン管(さや管ヘッダー工法) ※高密度ポリエチレン管(3.2mm以上) ※ポリブテン管(10mm保温付)																																					
便所天井内	※ポリブテン管																																					
便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																					
その他の部分	※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管																																					
床下、暗渠内(ピット内、共同溝を含む。)	※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管																																					
湿潤シンダー内配管	※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管																																					
保温をしない屋外露出部 地中埋設部(一般部分)	※HIVP・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管(PE)																																					
便所天井内、P.S内(注5)	※高密度ポリエチレン管(3.2mm以上) ※ポリブテン管(10mm保温付)																																					
便所天井内	※ポリブテン管																																					
便所空隙壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																					
その他の部分	※SUS・SGP-PD・HIVP ・ポリブテン管																																					

撤去再取付 対象機器表

機器番号	機器名称 (系統名)	型式	室外機										非常電源	インターロック	遠方	防振装置	備考		
			設置階	台数	呼称能力	冷房能力	暖房能力	消費電力 (50Hz)	電源 相	電圧	起動方式	コンクリート基礎							
					HP	kW	kW	kW	φ	V		(既存)							
PAC-B1-01	SPD系統 空調機	ビル用マルチ室外機	B1	1	8.0	22.4	25.0	6.53	3	200	直入	-	-	○	○	-	150H	P	ダイキン工業 RXYP224D 撤去再取付 183kg
PAC-B1-02	ベッドセンター系統 空調機	ビル用マルチ室外機	B1	1	10.0	28.0	31.5	9.69	3	200	直入	-	-	○	○	-	150H	P	ダイキン工業 RXYP280D 撤去再取付 195kg
PAC-B1-06	中央監視室系統 空調機	ビル用マルチ室外機	B1	1	8.0	22.4	25.0	6.53	3	200	直入	○	-	○	○	-	150H	P	ダイキン工業 RXYP224D 撤去再取付 183kg
PAC-B1-07	第3電気室系統 空調機	設備用空調機(冷房専用)	B1	2	14.0	40.0	-	16.9	3	200	入一△	○	-	○	○	-	150H	P	ダイキン工業 SZVCP450K 撤去再取付 290kg

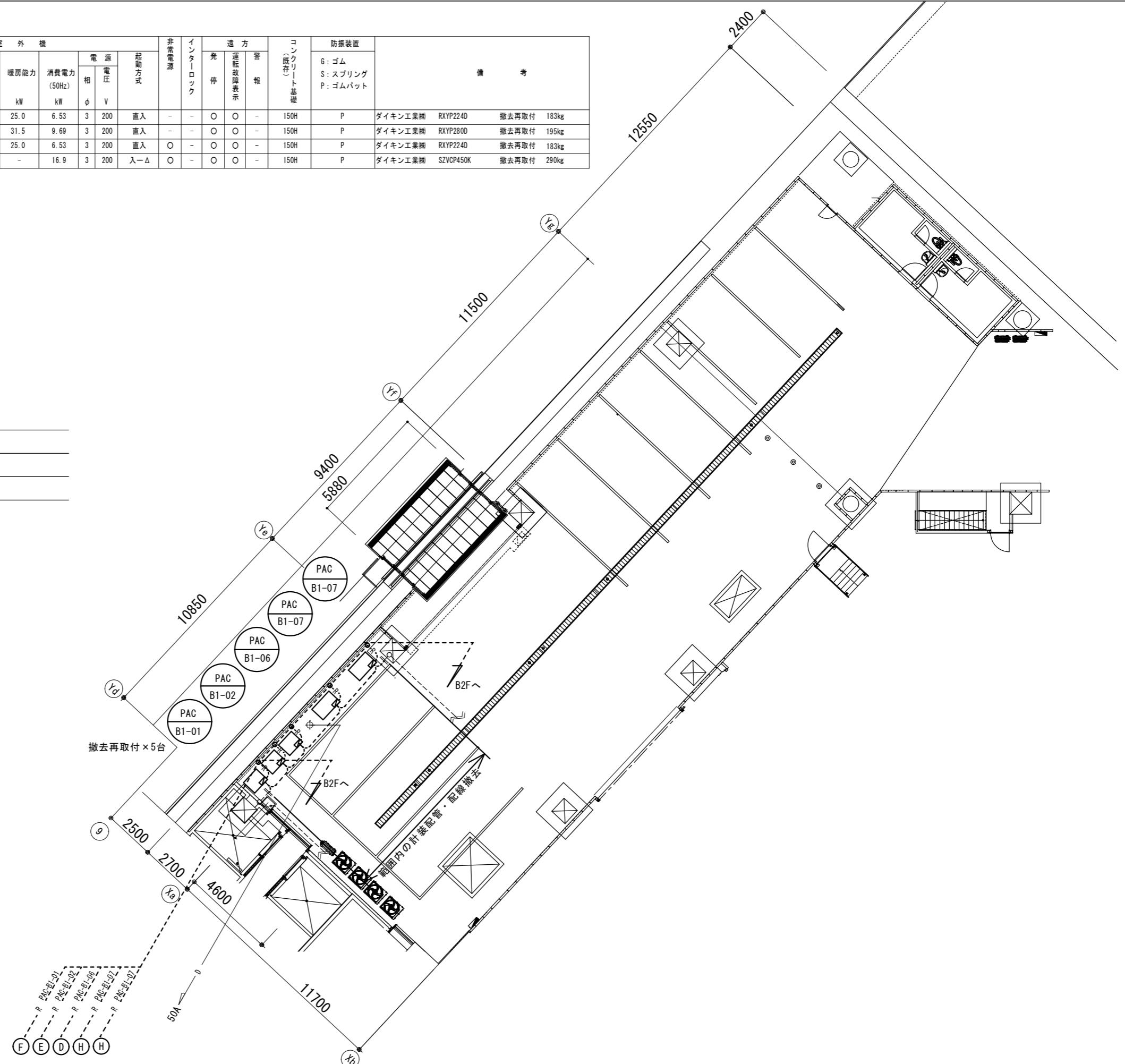
□冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
(D)	9.5	19.1
(E)	9.5	22.2
(F)	12.7	22.2
(H)	12.7	28.6

<注記>

- 1) 室内機・室外機の渡り配管は、冷媒管共通巻きとする。
- 2) 区画貫通処理は、貫通部分を不燃材で埋めること。
- 3) 計装線は配管、配線共に撤去すること。

---- : 計装線(撤去) CVVS2Sq -2C × 1 (F2)
 ---- : 計装線(既設) CVVS2Sq -2C × 1 (E25)
 --R-- : 冷媒管(往、還共) (撤去)
 -R- : 冷媒管(往、還共) (既設)
 -D- : ドレン管(既設)



設計年月日	主幹	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
R5.12.1	埼玉県立 小児医療センター 管財担当		1/2000	埼玉県立小児医療センター地下駐車場空調機移設工事	空気調和設備 地下1階平面図(改修前)	M-03

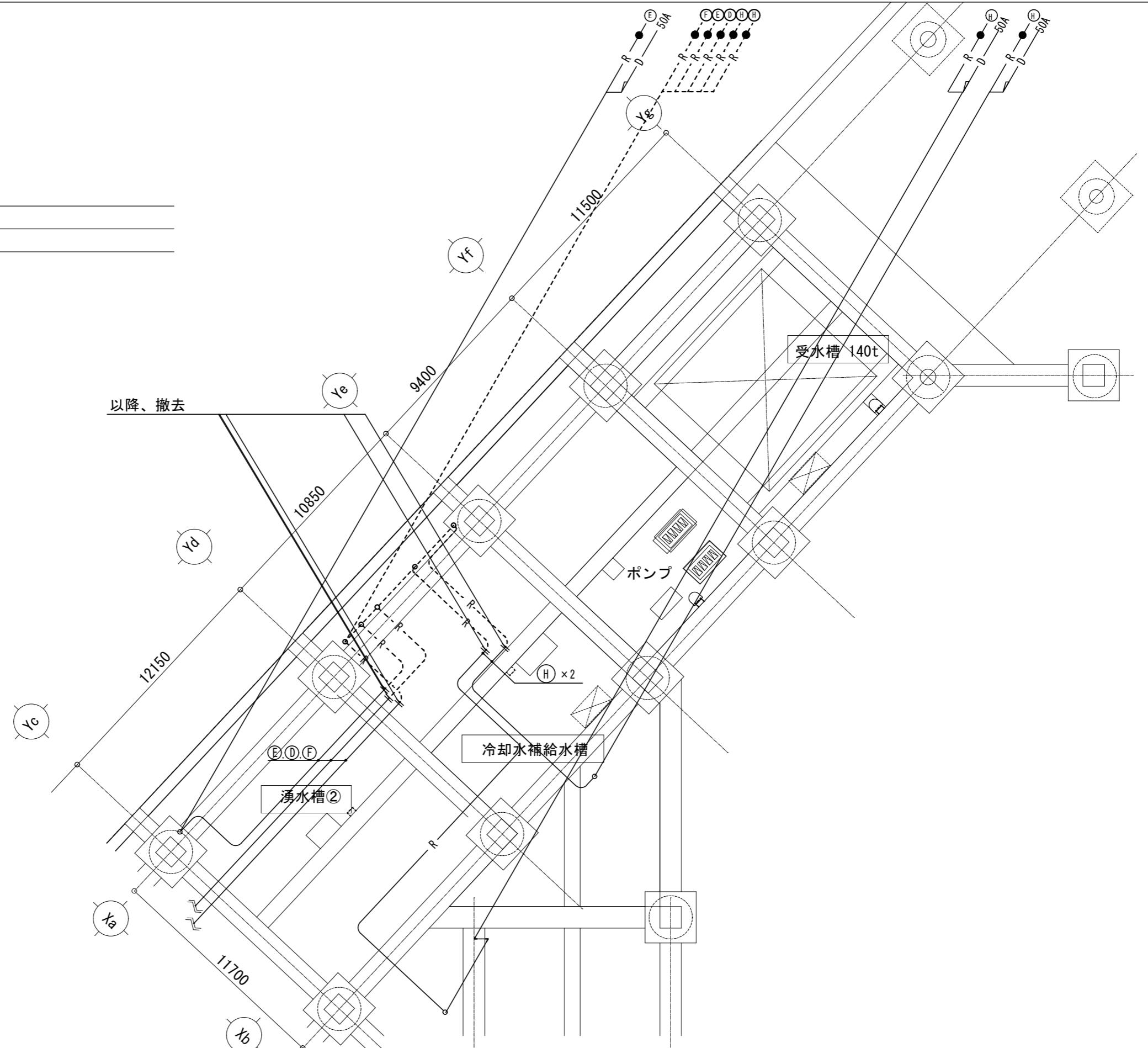
□冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
(D)	9.5	19.1
(E)	9.5	22.2
(F)	12.7	22.2
(H)	12.7	28.6

<注記>

- 1) 室内機・室外機の渡り配管は、冷媒管共通巻きとする。
- 2) 区画貫通処理は、貫通部分を不燃材で埋めること。

--R-- : 冷媒管（往、還共）（撤去）
 -R- : 冷媒管（往、還共）（既設）
 -D- : ドレン管



設計年月日	主幹担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
R5.12.1	埼玉県立 小児医療センター 管財担当	1/2000	埼玉県立小児医療センター地下駐車場空調設備移設工事	空気調和設備 地下2階平面図（改修前）	M-04

撤去再取付 対象機器表

機器番号	機器名称 (系統名)	型式	室外機									非常電源	インターロック	遠方	コンクリート基礎	防振装置	備考
			設置階	台数	呼称能力	冷房能力	暖房能力	消費電力 (50Hz)	電源 相	電圧	起動方式						
PAC-B1-01	SPD系統 空調機	ビル用マルチ室外機	B1	1	8.0	22.4	25.0	6.53	3	200	直入	-	-	○	○	-	150H P ダイキン工業 RXYP224D 撤去再取付 183kg
PAC-B1-02	ベッドセンター系統 空調機	ビル用マルチ室外機	B1	1	10.0	28.0	31.5	9.69	3	200	直入	-	-	○	○	-	150H P ダイキン工業 RXYP280D 撤去再取付 195kg
PAC-B1-06	中央監視室系統 空調機	ビル用マルチ室外機	B1	1	8.0	22.4	25.0	6.53	3	200	直入	○	-	○	○	-	150H P ダイキン工業 RXYP224D 撤去再取付 183kg
PAC-B1-07	第3電気室系統 空調機	設備用空調機(冷房専用)	B1	2	14.0	40.0	-	16.9	3	200	入一△	○	-	○	○	-	150H P ダイキン工業 SZVCP450K 撤去再取付 290kg

□冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
(D)	9.5	19.1
(E)	9.5	22.2
(F)	12.7	22.2
(H)	12.7	28.6

<注記>

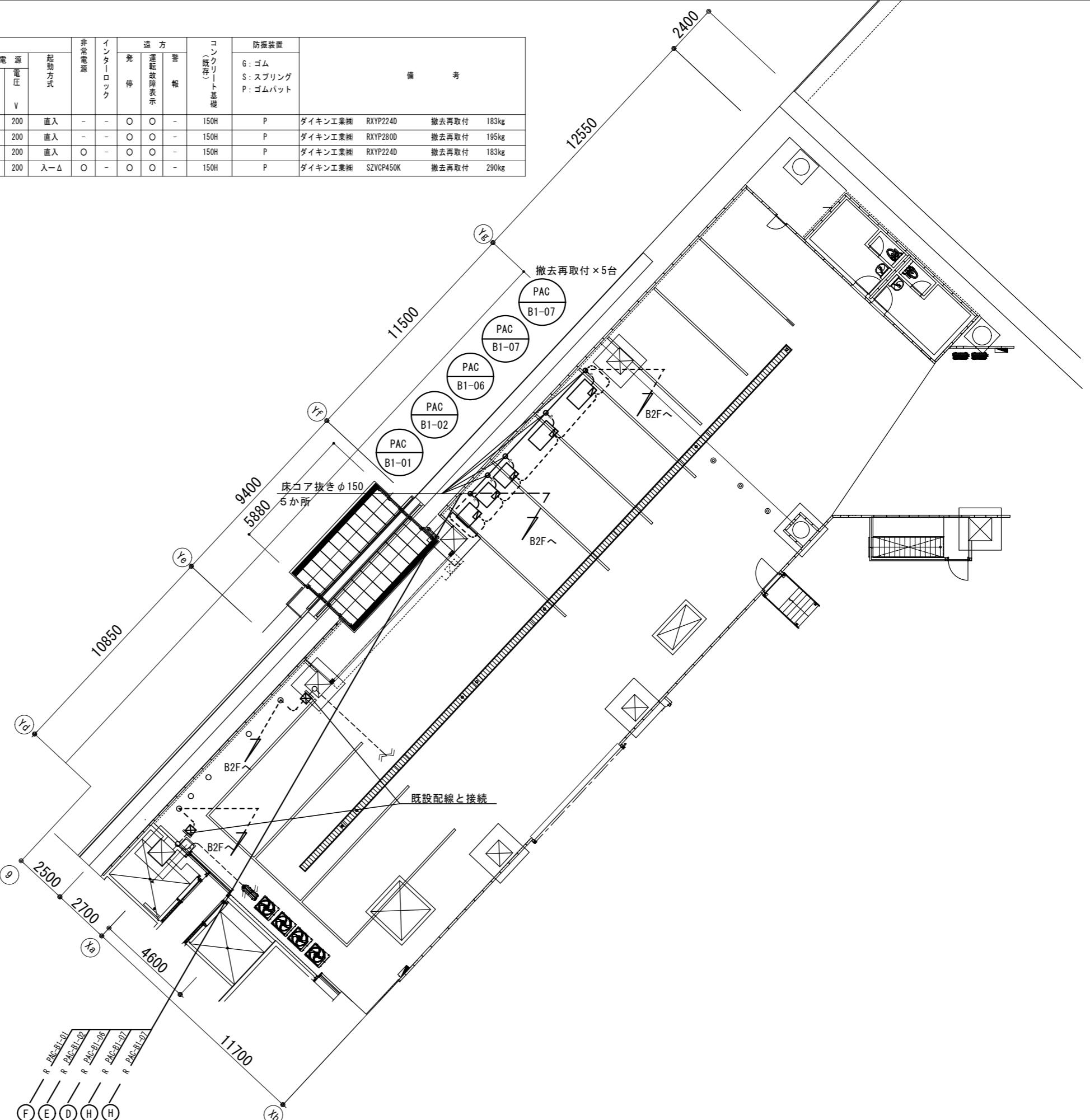
- 1) 室内機・室外機の渡り配管は、冷媒管共通巻きとする。
- 2) 区画貫通処理は、貫通部分を不燃材で埋めること。
- 3) 室外機のドレンは、フロアへ流す。

---- : 計装線(新設) CVVS2Sq -2C × 1 (E25)

---- : 計装線(既設) CVVS2Sq -2C × 1 (E25)

— R — : 冷媒管(往、還共)(新設)

☒ : ブルボックス200×200×100(新設)



設計年月日	主幹	担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
R5.12.1	埼玉県立 小児医療センター 管財担当		1/2000	埼玉県立小児医療センター地下駐車場空調機移設工事	空気調和設備 地下1階平面図(改修後)	M-05

□冷媒管サイズ表

番号	液管	ガス管
(D)	9.5	19.1
(E)	9.5	22.2
(F)	12.7	22.2
(H)	12.7	28.6

<注記>

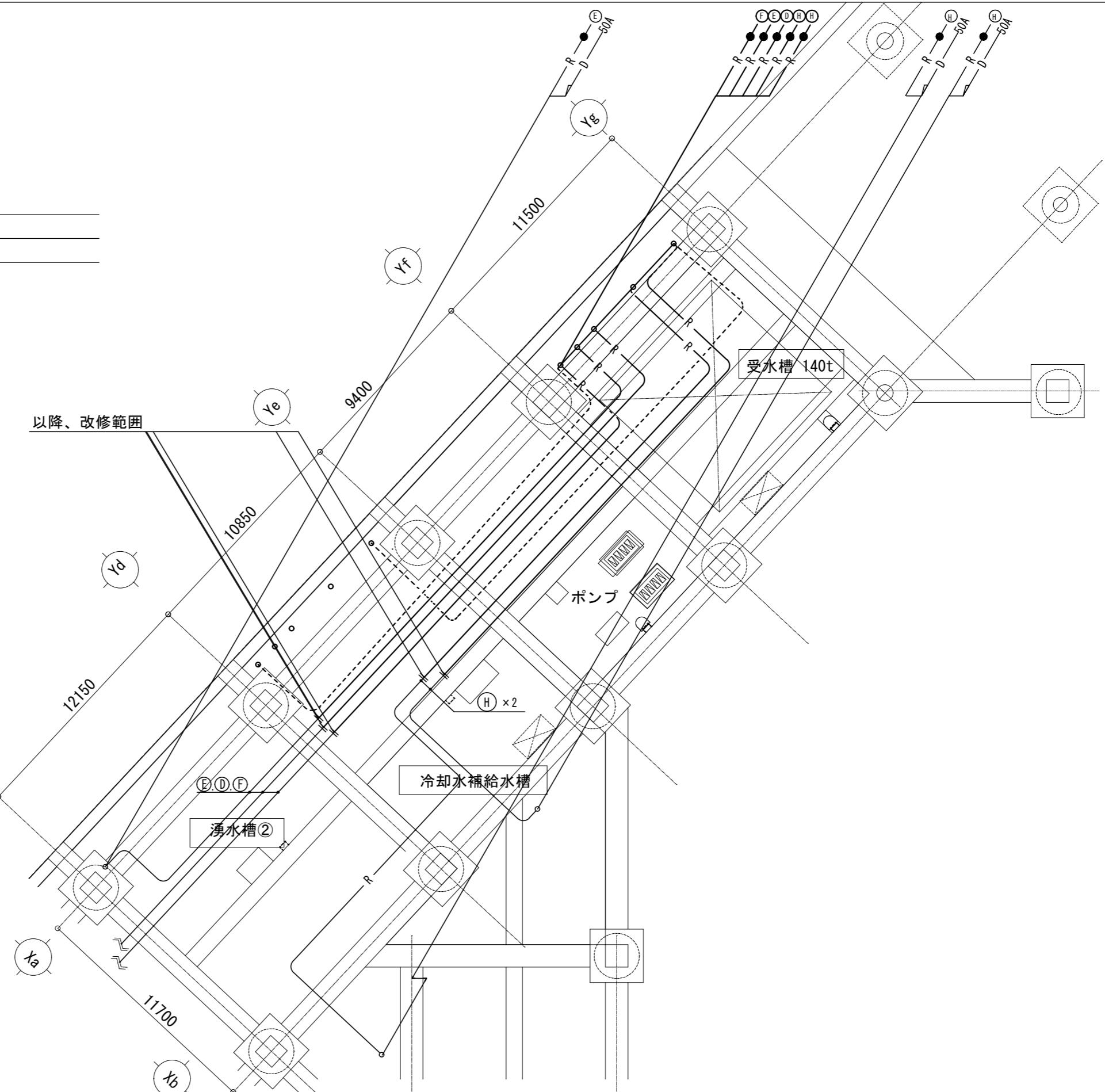
- 1) 室内機・室外機の渡り配管は、冷媒管共通巻きとする。
- 2) 区画貫通処理は、貫通部分を不燃材で埋めること。

----- : 計装線（新設）CVVS2Sq -2C × 1 (E25)

-R- : 冷媒管（往、還共）（新設）

-R- : 冷媒管（往、還共）（既設）

-D- : ドレン管



設計年月日
R5.12.1

埼玉県立
小児医療センター
管財担当

主幹担当

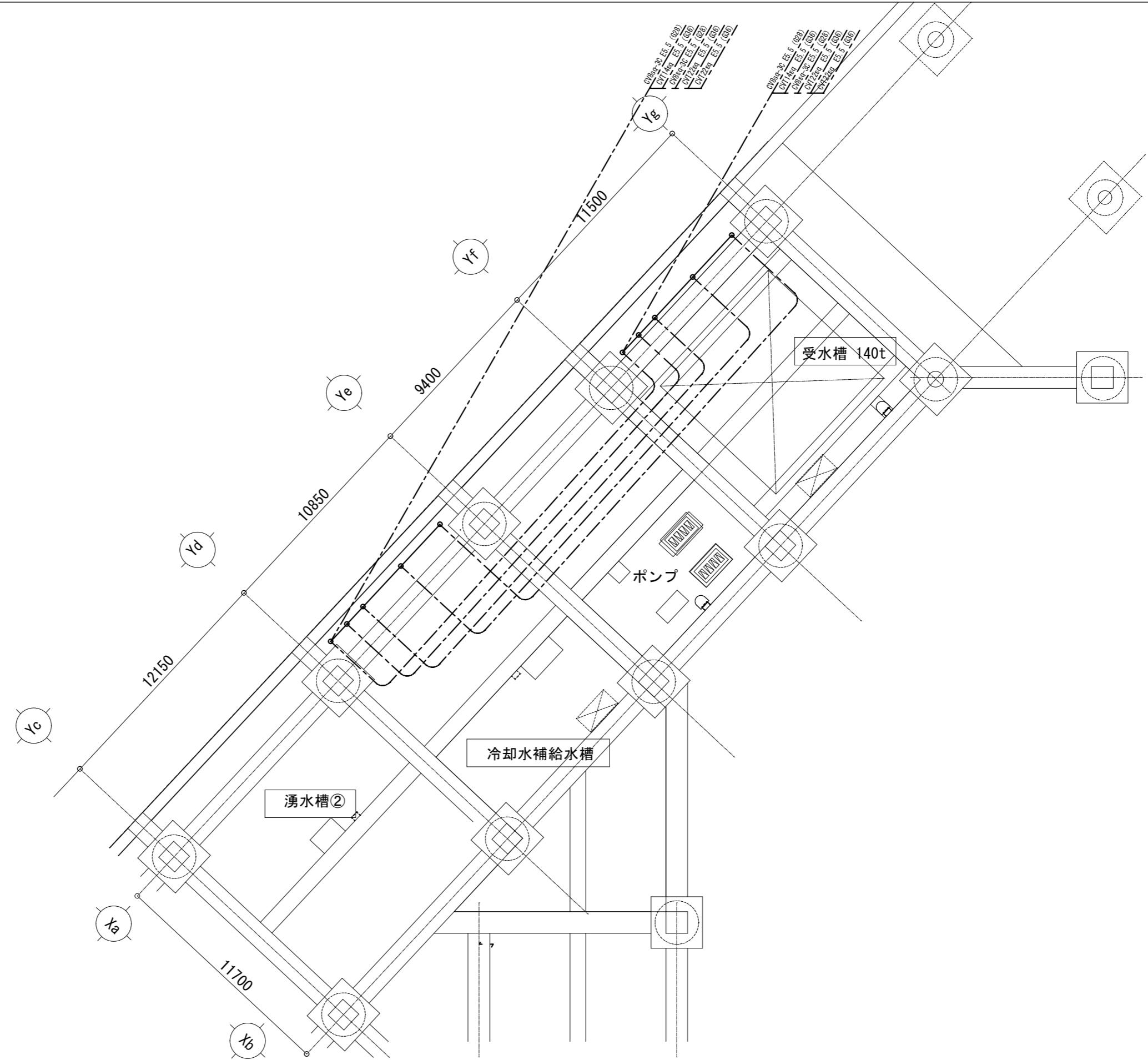
縮尺
1/2000

工事名称
埼玉県立小児医療センター地下駐車場空調設備移設工事

図名
空気調和設備 地下2階平面図（改修後）

図面番号
M-06

--- : 配管・配線（新設）



設計年月日	主幹担当	縮尺	工事名称	図名	図面番号
R5.12.1	埼玉県立 小児医療センター 管財担当	1/2000	埼玉県立小児医療センター地下駐車場空調設備移設工事	動力設備 地下2階平面図(改修後)	E-04